

講義名	文化人類学		
科目区分	教養科目		
担当教員	植野 加代子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	22011

主題と概要

文化人類学では、アジアの文化を通じて異文化を理解し、自文化をとらえ直すことを主題とする。この講義では、特にアジアでの庶民の生活文化を、文献資料だけではなくフィールドワーク・写真・映像資料等を用いて紹介する。各国の文化や習慣の具体的な事例を取り上げ、多様な異文化の理解を深めると同時に、講義でとりあげる各国以外の国の生活習慣とも比較しながら講義を進める。

到達目標

アジア各地の事例をとおして文化の多様性と普遍性について知り、当たり前だと思っていた自国の文化に対する新たな見方ができるようになる。さらに、異文化を知ることによって思考力や想像力の幅を広げ、自由な発想や知識を生みだすことを身につけることができるようになる。

提出課題

1. 指定したテーマについて、中間レポートを課す。題目や詳細については、講義中に別途指示する。
2. 講義では、感想文等の提出課題を課す。

評価の基準

1. 評価は、定期試験(50点)、中間レポート(30点)、平常点(20点)を総合して行う。

履修にあたっての注意・助言他

1. 講義の受講にあたっては、異文化に対する幅広い関心と学習意欲をもって受講すること。
2. 講義中はノートをとること。
3. 講義中の私語など、他学生の学習を妨害しないこと。
他学生に迷惑をかける場合や受講態度が好ましくない学生には退学を求めることがある。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

プリント資料...各時間に配布する。
参考文献...講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. 文化人類学とは
フィールドワークと異文化理解
2. インドネシアの文化
少数民族の住居
3. インドネシアの文化
伝統舞踊・伝統楽器
4. インドネシアの文化
生業
5. インドネシアの文化
葬送・墓制
6. ベトナムの文化
年中行事1
7. ベトナムの文化
年中行事2
8. ベトナムの文化
婚姻
9. ベトナムの文化
少数民族の農業と市場
10. ブータンの文化
民族と伝統衣装
11. ブータンの文化
市場と食
12. ブータンの文化
住居と建築様式
13. ブータンの文化
宗教と儀礼
14. ブータンの文化
仏教文化と祭礼
15. インド(シッキム・ダージリン)の文化
山地の生活と鉄道

予習・復習

予習...講義で取り扱う各国の概要をあらかじめ各自で調べる。
復習...講義から得た各国の文化と自国の文化を比較し、相違点や類似点などを考える。

備考

特になし。